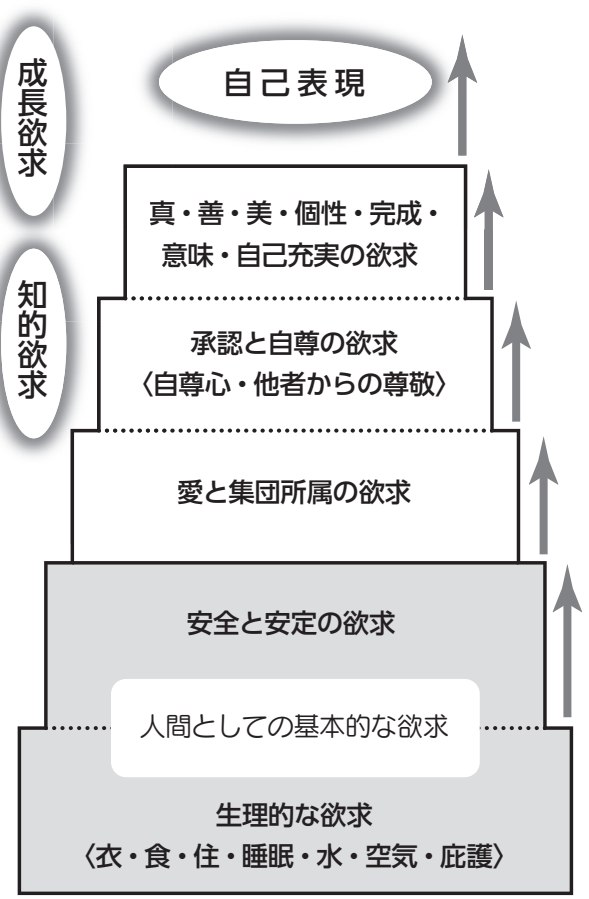


「欲求の階層」 アブラハム・マズロー

風をしのぐ家や寒さをしのぐ衣類、飢えをしのぐ食べ物がないければ、人は不満や苛立ち、不安に満たされてしまいます。空腹は、胃だけが感じ、胃だけが食べ物

活動に集中できなくなったり、いじめや万引き、怠学、規則違反、器物破損などによって、その苛立ちを表出したりするケースがあります。また、身の安全が守られていない子や、無条件に愛され、認められ、信頼されているという実感の乏しい子ども、家庭にも学校にも「居場所」がなく、集団への



人間誰もが持っている欲求

- ア. 欲求は、目標を達成するための動機付けとなるもので、決して悪ではない。  
(欲求 ↔ 我欲・欲望)
- イ. 「基本的な欲求」から階層的に充足していく必要がある。充足された欲求は、欲求ではなくなる。
- ウ. 人間のすべての欲求の中で、最も強いのは、生命の維持に関する「生理的な欲求」である。
- エ. 「生理的な欲求」から、順次、「安全と安定の欲求」「承認と自尊の欲求」「自己充実の欲求」が充足されると、「自己実現の欲求」が表れる。
- オ. 欲求の階層にかかわらず、人はより高次な存在価値を有する自分でありたいという「成長欲求」と、知識や理解への願望である「知的欲求」を持っている。

**相談時間等 月・水・金曜日**

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分  
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時  
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館/  
午前11時40分～午後1時30分  
電話 56-0303 (直通)  
有線 8889 (直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の教頭先生へご連絡をお願いします。

所属感を持ってない児童・生徒は、やはり苛々や寂しさなどの不安定な気持ちに覆われ、とても学習に専念できる心身の状態にはなれません。そして、時には大人が眉をひそめるような反社会的な問題行動に走ってしまうのです。

子どもは、このような欲求や欲求が充足されないための苛立ちを、なかなかストリートに表現しません。しかし、子どもは、大人以上に「人間としての基本的な欲求」の充足を必要としていますので、親と教師は、子どもの健やかな成長の原動力となる「人間としての基本的な欲求」について十分理解し、その充足のために全力を尽くさなければなりません。そうすることが、いじめを根絶するための最も効果的な手だてです。

## ひきこもり家族教室 のご案内

大切な家族がひきこもりになったとき、一緒に生活しているご家族は不安やあせり、自責の念にかられることがあります。同じ悩みを抱えている家族同士で語り合うことで、気持ちが楽になったり、対応のヒントが発見できます。

**日程と内容**

- 1回目 11月21日(水)  
精神科医師による講話・講師との懇談
- 2回目 12月4日(火)  
体験談(ひきこもり体験があり、現在就労されている方から)・支援機関の紹介・交流会

**時間** 13時30分～15時30分  
**会場** 佐久合同庁舎 5階502号会議室

**対象者** ひきこもりの方のご家族  
(義務教育終了以上の方)

※2日間のうち1日だけの参加も可能です。

お申し込み先  
11月16日までに佐久保健福祉事務所  
所(0267-63-3164)  
へ電話でお申し込みください。